

ほんごう

No.20

2016年(平成28年)10月発行
〒939-8630 富山市本郷町13番地
富山高等専門学校本郷キャンパス同窓会
発行責任者：石山彰雄
制 作：有限会社 青青編集

富山高等専門学校本郷キャンパス同窓会会報

平成28年度 **ほんごう会大懇親会**に
多数の参加を！！



平成二十七年度
富山高等専門学校 卒業・修了記念祝賀会



詳しくは
ほんごう会ホームページ

ほんごう会

検索

または、同窓会メールまで

E-mail : ezx02722@nifty.ne.jp

いっぺんこられまあ～

ほんごう会大懇親会 (平成28年度総会)

11月5日(土)

PM5:00～ 講演会
PM6:00～ 懇親会 (総会)

●場 所 / **ホテルグランテラス富山**
(旧名鉄トヤマホテル)

●会 費 / 30才未満及び女性 ￥3,000
30才以上の男性 ￥5,000
新卒者 無料

恩師の先生方にもご案内しています。

なお出席の方はメール、FAXまたは同封のはがきにて、
10月25日までにお知らせください。

巻頭言

富山高専本郷キャンパス同窓会

ほんごう会 会長 石山 彰雄



6月の定時理事会で、役員の改選を行った。多少体制が変わって会報も一新した。是非、御意見・原稿等お送り頂きたい。

会報の表紙は、本郷キャンパス同窓会（ほんごう会）と射水キャンパス同窓会（北斗会）との統合同窓会による初の卒業祝賀壮行会の様子である。

挨拶は統合同窓会会長（会長は北斗会とほんごう会で1年ごとに交替となる。）である北斗会会長の池田茂氏である。私は、壮行会の司会進行役に徹した。

本郷キャンパスと射水キャンパス合同の卒業祝賀会は昨年が第一回目で、主催は学校側にて実施したもので、卒業生からも会費を徴収して実施した。

しかし、今年は同窓会として卒業生に対する壮行会とするため同窓会と後援会にて卒業生を祝う会とし、同窓会・後援会の主催のもと、当然に卒業生は無料として実施した。

本郷キャンパス、機械システム工学科、電気制御システム工学科、物質化学工学科、射水キャンパス、電子情報工学科、国際ビジネス学科、合計5学科及び専攻科修了生を含め総計230名余りの卒業生が一堂に会して卒業の喜びを爆発させていた。恩師の先生方を囲み記念写真など青春の思い出に同窓会として関与できた事が非常にうれしく感じた。

同窓会としては、卒業生にはこれから同窓会の正会員として同窓会に積極的に関与して頂き、富山高専及び富山高専同窓会そして高専制度の発展に是非寄与して頂きたいものである。

高専制度は創立時から既に50年以上経過し、その創設当時の中堅技術者養成という大目標も今や、ほと

んど意味をなさなくなってしまう。

今どき、中堅技術者養成などという謳い文句では優秀な生徒（学生）が集まるはずもなく、創造的実践技術者の養成などと変化してきている。間違っただけではないのは、高専は大学の附属校でも、大学へ進学するための一つのステップなどということも決してないのである。

高等教育機関である高等専門学校はそれだけで完成教育なのである。そのためには高専卒業生のための大学院を創設して高専制度の特徴を分かりやすく社会へ示すべきと考える。その産物が、実は長岡・豊橋の両技術科学大学である。構想段階では、この両大学は高専卒業生受け入れのための大学院であったが、実施段階で、工業高校生受け入れの大学へと変化してしまったのである。

高専という日本のものづくりにおける最も重要な部分を担う教育制度が従来の6・3・3・4制のなかに埋没してしまえば、高専制度は消滅してしまうのは明らかである。

これらの事につき同窓会として同窓生として単に同窓会が盛り上っているということではなく、同窓生の意見として高専制度がどうあるべきかにつき、高専機構や文部科学省などへ提言する様な組織作りも私は絶対的に必要なことではないかと考える。

最近「高専を考える議員連盟」も発足し、積極的に勉強会などを開いてもらっている。

高専制度を広く国民に知ってもらい更なる日本にとってよい制度となる様尽力してゆきたいと思っている。

富山高専の近況報告



校長 石原 外美

同窓生の皆様方にはますますご健勝のこととお慶びを申し上げます。平素より、富山高専の教育研究活動、そして学校運営に対し、格別のご理解とご支援を頂いていることに、先ずは厚く御礼申し上げます。

さて、本稿では、(1) 海外との交流・連携活動、並びに(2) 研究並びに産学連携活動、の2つの話題を取り上げ、富山高専の近況を報告致します。

(1) 海外との交流・連携活動について

小職は、2015年10月半ば、ハンガリー、ブタペストにある、パズマニーペーテルカソリック大学から招待を受け、同大学の創立380周年式典に出席しました。パズマニーペーテルカソリック大学は、ハンガリー最古の大学であり、また研究大学としても知られ、ヨーロッパにおいても高い研究レベルを誇っていますので、本校の専攻科生をインターンシップ生として受け入れてほしい旨、依頼してまいりました。

その後、11月半ば、韓国の慶熙(キョンヒ)大学を訪問しました。慶熙大学はソウルからバスで1時間ほどの人口、約100万人の水原という都市にあります。同大学では水原キャンパスの総責任者である副学長と工学部長と懇談し、本校と慶熙大学との今後の連携について懇談すると同時に、ミニシンポジウムにて研究発表し帰国しました。韓国は、日本との時差もなく約2時間のフライトですので、学生、教員が行き来し易く、今後両サイドの関係が強くなることを期待しています。

昨年12月初め、北アイルランドのSouth Eastern Regional College (SERC)を訪問しました。これは、SERCがユーロ圏のファンド(Erasmus)を獲得し、2年間にわたって、本校と教職員の交流等の協働事業を行うことになったため、その具体的な計画を話し合うためです。これで4回目の訪問になりますが、毎回絆が強くなっていることを実感しています。続く12月半ばには、本校とタイのキングモンクット工科大学ラカバーン校(KMITL)が共同で開催している、第2回の国際会議(ICET2015)に出席するため、本校教職員とともにKMITLを訪問し、交流を深めました。本年10月13、14日の両日、第3回目の国際会議ICET2016を富山で

開催します。これまでの2回の会議と比べ参加者、参加機関が多くなり、より広がりを持つ国際会議となりそうです。以上、昨年末に4つの国々を訪問し、本校が、各国の大学との連携を深め、そして広げていることを紹介しました。

本校専攻科生が、本年の8月から9月にかけて、ハンガリーのブタペスト工科大学、パズマニーペーテルカソリック大学、北アイルランドのSERC、タイとマレーシアの民間企業へ出かけ、海外インターンシップを実施する予定です。また、本校の2人の教員が、共同研究を実施するため、ハンガリーの上記2つの大学を訪問します。本校は、グローバルな視点を持ち国際的に活躍できる人材の育成を行うため、今後とも、アメリカ、ヨーロッパ、アジアに所在する本校と強い関係にある高等教育機関と連携して、海外研修、異文化体験、海外インターンシップ等を強く推進する予定です。

(2) 研究並びに産学連携活動について

国立高専機構では、高専間の共同、連携を進めるために全国を5つのブロックに分け、それぞれのブロック毎に将来へ向けての改革を進めています。富山高専は、第3ブロック(東海北陸、近畿地区)に所属し、研究分野の協働、共有化推進WGの主幹校として、他高専との共同研究を進めるための努力を継続しています。また、本校は、本年、第3ブロックの研究推進モデルトライアル校の認定を受け、活動中です。富山高専は、文部科学省の科学研究費獲得件数が全国高専の中で昨年は一位、本年は二位となりました。さらに、共同研究件数が全国高専の中で一番多いなど、本校は、産学連携、研究分野におけるフロンティア校として活躍しています。

富山高等専門学校は、地域の皆様に愛され、そして信頼される高等教育機関となるよう、学生、教職員が一丸となって努力して参ります。どうぞ、同窓会の皆様方から、ご指導、ご鞭撻、そしてご支援を賜りますようお願い申し上げます。末筆になりますが、皆様方のご健勝とご活躍をお祈り致します。

会員のひろば

クラス会・OB会情報

電気工学科25期クラス会

会 名 称：富山高専電気工学科25期クラス会
 開 催 日：平成28年8月14日(日)午後3時～
 会 場：パレプラン高志会館
 参加人数：学生23名 先生3名
 (武部先生、武田先生、貴堂先生)
 合計26名

卒業以来24年振りに富山に集合しました。開催にあたり約3ヵ月間掛けて案内を行い、世話人で計5回の打ち合わせを経て、開催にこぎつけました。開会のあいさつから始まり、乾杯の発声は5年生の担任をして頂いた貴堂先生にお願いしました。会も盛り上がり、学生生活の写真スライドショーでは、当

時の面影を懐かしみました。現在の姿と当時とのギャップに皆が驚きました。最後に一人ずつ近況やこの24年を振り返って一言もらい、それぞれが現在の仕事や趣味について語り、皆が今日出会えたことへの感謝の気持ちを述べたのが、印象的でした。最後に恩師である先生方に記念品と花束贈呈を行い、記念撮影を行って閉会しました。(幹事 鶴野 浩靖)



3Mクラス会

オリンピックイヤーに4年ぶりのクラス会を開催した。出席者は石崎先生を含め16名、全員達者であった。卒業以来一度も顔を見たことがない同志に是非会いたいものである。

今回は2020年の東京オリンピック70歳記念かと思いきや、冬季オリンピックもあるとのことで2018年にも開催するか・・・??。

(幹事 石山)



小島、浜木、新石、山本、片岡、元井、高松、金森、竹内、下田
 宮袋、麻生、石崎先生、石山、島林、上柳

E5同級会

さる8月12日に高岡市太田、磯はなびに於いて4年ぶりの同級会を開きました。

オリンピックの年には同級会をと決め、回数を重ねていくうち、還暦を過ぎ、定年となり孫ができ、現在に至る面々が、揃いました。



卒業以来43年。それぞれにそれぞれの43年の道のが写真の顔にしっかりと、写っています。

小川名誉教授にご出席いただきました。

前回と変わりなく、お元気な様子で、先生には感謝しております。

同級会は、挨拶・乾杯と進み、カラオケ・各自の近況報告で、宴会の予定時刻をとっくに超えてしまいました。小川先生の河島英五のカラオケはなかなかのもので、拍手喝采。

又、南部君の挨拶。「年老いては、教育と教養が大事である。今日行くところがあるか、今日用事があるか。これが年老いて大切なことである……。」ごもっともです。

宴会は、美人のコンパニオンとともに、笑いの渦にきえました。漁火を眺め、又、

朝日を見ながら、露天風呂につかる。昔見たお年寄りが、今、確実に我が身になっていることを実感した同窓会でもありました。「生きていれば、又、4年後に会おうや」という挨拶を聞き、「てやんでえ、今からが我が青春だ。死んでたまるか。」と、つぶ

やきながら、帰途につきました。

参加者、先生含め21名、あの世の人、数名。今、お盆も終わり、皆それなりに頑張っていることと思います。

(幹事 織田 哲男・河合 彰)

陸上部OB・OG会

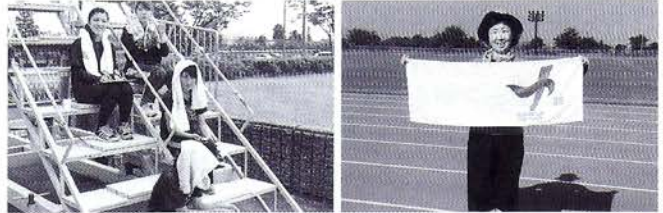
今年の陸上部OB・OG会は8月13日に開催。35周年記念ということで、開催場所をいつもの母校のグラウンドから、空港緑地公園の陸上競技場(秋ヶ島)にて開催しました。当日は朝からの快晴に恵まれ、非常に暑いなかOB・OG21名が参加しました。

陸上部OB・OG会では、1年間の活動報告などを行う総会と、OB・OG・現役部員の参加による記録会が行われます。総会では、今回の35周年記念用にタオルを作成したことを報告し、来年以降も継続してOB会を開催し盛り上げることを確認しました。開催場所については母校のグラウンドの状況が思わしくないことから、整備について現役部員のためにも、OB会からも学校側に伝える必要性の検討などの意見がでました。

総会のあとは恒例種目(1500M、50M、100M、走幅跳、砲丸投、5000M)の記録会です。今年は陸上競技場での開催ですので、最後にリレーも行いました。今年も顧問の豊嶋先生、現役選手達と共に、一緒に楽しく走り・跳び・投げてきました。現役部員の力強い姿勢に、OB・OG達も良い刺激を受けて、今の自分達にできる

限界へ挑戦しました。最終種目のリレーではバトンが宙に浮いてしまうということもありましたが、最後のゴールまで全力を尽くしました。OB会は今後も積極的にこの高専本郷の陸上部活動を応援し続けます。

(陸上部OB会長 C27吉田 功)



弓道部OB 射会・懇親会

今年度の弓道部OB射会・懇親会を、ゴールデンウィークの土曜日である4月30日に開催しました。

射会では現役の方の入賞が多いだらうと思っています



ましたが、卒業生の方が2人も入賞に絡む検討を見せました。また久しぶりに参加するOBの方々もおられ、昔話に花を咲かせていました。高専の建物が色々となっていて、びっくりしているOBの方もおられました。その後、お菓子やジュース等を囲んで在学生と交流を行いました。なお、射会に参加しなくても見学や交流会に参加するのも大歓迎ですので是非来年度も多数の参加をお待ちしております。

懇親会は「柚柚」にて19:00より行いました。OBの中で結婚する人の話題で盛り上がる場面もありました。今後も、そのような結婚・出産等のおめでたい話が増えてくるのではないかと思います。

なお今まで開催の案内は主に往復はがきでしたが電子メールへの移行を順次進めています。

tnct.kyudo@gmail.comに名前を記入のうえ送信して頂けたら幸いです。(幹事 E40 島崎 紘巨)

同窓会助成部活紹介

メカテック部

私たちメカテック部は、1～5年生で、現在計36名が在籍し、授業終了後から活動しています。“メカテック”という名前からは活動内容の想像がつきにくいかもしれませんが、主にロボットの製作を行っています。



1年の流れとしては、年度の前半にNHK高専ロボットコンテストに出場する為のロボットを製作し、後半は新入生の教育や技術の開発、部内規模のロボコンなどを行っています。今年は、昨年度まで部を引っ張ってこられた先輩方が後見に回り、主に3年生が主役となって、10月に行われるロボコン地区大会、さらにその先の全国大会に向けて活動しています。

今年の競技名は「ロボット・ニューフロンティア」と言います。様々な課題を乗り越えて、相手より高くボックスを積む競技となっており、白熱した試合が予想されます。この競技の流れは、スタート地点の近辺またはフィールド中央付近にあるボックスを、スタート地点の反対側にある台の上に積み上げなくてはなりません。ただし、フィールドの中央には、“海”と呼ばれている、ロボットが足をついてはいけぬゾーンがあり、“船”と呼ばれている台車に乗ったりすることで海を渡る必要があります。相手に勝つためにはこの海を攻略し、台の上に相手よりも高くボックスを積み重ねなければなりません。競技のポイントとしては、まず、ロボットの展開サイズが無制限なので、それをうまく活用して課題をクリアすることと、ロボットがボックスを持ちすぎると海ゾーンを渡るのが難しくなるので、積むボックスの

高さや難易度のバランスをうまくとることです。僕たち富山高専本郷キャンパスからは計2チームが出場します。Aチームは2台のロボットを使用し、片方のロボットがもう片方にボックスを詰め、英語のVを上下逆さまにしたような形でブロックを積みます。もう一方のBチームは、複雑な課題をクリアするためにロボット4台に役割を分担させ、ピラミッドの要領でブロックを積みます。

今回僕たち本郷キャンパスのチームがロボコンで動かすロボットは、2チーム合わせて6台にもなります。もちろんそれぞれ性能は違いますが、過去にこれほどの数のロボットを一度に作ったことがありません。しかし、去年のオフシーズンから部全体でプログラミング回路、機械の設計方法、加工の仕方についても一度学びなおし、スキルアップを図ってきました。その成果を発揮したいです。

また、今年は新しい技術をいくつか導入しました。今まではロボットを構成する素材は主にアルミニウムが主流でしたが、今年は軽量で丈夫なカーボン素材を採用することによって、ロボットの強度を上げつつ軽量化を図っています。さらに3Dプリンタを新たに導入し、これまで部内の設備では作成するのが難しかった部品を作成、使用することで、機構の単純化とメンテナンス性の向上を実現しました。ロボットの制御に使用するマイクロ・コンピュータの開発環境についても充実化を図り、部員同士の連携や、プログラム未経験者への導入が簡単になりました。これらの新しい技術をうまく使いこなし、全国大会に出場できるように頑張りたいです。



今年の課題も例年同様難しいことがたくさんありますが、部員一同力を合わせて挑戦します。毎年OBの方々からご声援をいただき、とても励みになっていますので、今年もどうかご声援のほどよろしくお願い致します。

(メカテック部)

卓球部

富山高等専門学校本郷キャンパス卓球部は、水曜日を除くほぼ毎日、第一体育館で活動しています。今年は1年生の入部が1名でしたので、現在の部員は5年生1名、4年生2名、3年生7名(うち女子2名)、2年生2名の13名です。夏の北陸地区高専大会が、7月2日(土)、3日(日)に、福井の丹南総合公園体育館で行われました。日差しが照り付けていたこともあり、体育館上部で換気扇も回してもらっていましたが、体育館内はとても暑かったです。そんな中、応援に駆けつけて下さったり、差し入れして下さいましたOBの方には大変感謝しております。この場を借りてお礼申し上げます。その大会結果とは言いますと、大会前には平日はもとより、土、日にも練習に励んでいたにも関わらず、

男子団体は4位と残念な結果になってしまい、レギュラーメンバーはがっくり落ち込んでしまいました。個人では男子シングルスで3M大野君が、優勝した外山君(石川高専)に準決勝で当たり惜敗して4位になりました。女子は、



シングルスで松岡さんが3位、ダブルスで松岡さん・上山(かみやま)さんペアが3位に入賞しました。大会明けから部長であった5Eの清水君が引退し、代わって3Mの北田君が新部長としてチームをまとめています。秋の高専大会に向けて部員一同、心機一転練習にいそしんでいます。

最後になりましたが、同窓会から助成していただいたお

金で、練習ボールや公式試合球を購入いたしました。昨年度から従来のセルロイド製からプラスチックボールに変わり、価格が高くなった上にすぐに変形して使えなくなり、練習ボールの調達に苦勞していたので、大変助かりました。ありがとうございました。今後ともご支援のほど、よろしくお願ひいたします。(卓球部)

水泳部

富山高等専門学校本郷キャンパス水泳部は、各学年数名程度の少人数の部員数ではありますが、ここ数年全国高専大会出場・入賞および北信越大会出場の成績を取っております。今年度は、男子2名、女子3名、が新たに加わり、また、昨年度同様、水泳を専門としている仁木教員によって、質の高い練習と緻密な練習計画をもとに、全国大会優勝という高いレベルの目標を目指し、日々練習に励んでおります。

今年度の高校総体では、新たなメンバーを加え、女子個人種目で3名、および女子400mフリーリレー、400mメドレーリレーにて北信越大会へ出場することができました。また、北陸地区高等専門学校体育大会では、男子3位、女子2位、総合2位であっただけでなく、男子個人種目で3名、女子個人種目で3名、女子200mフリーリレーにて、全国高等専門学校体育大会へ出場することができ、現在、8月末に行われます全国大会で昨年以上の成績を目指して頑張っております。

同窓会より賜りました助成金は、昨年度同様に日々の練

習における市内のプール使用料へ活用させて頂きました。また、今年度より背泳のスタートの形式が変わり、それに合わせて同様の形状のスタート板の作成にも本助成金を活用させて頂きました。そのため、今年度はプールでの練習日を増やすことができただけでなく、新ルールに合わせたスタートの練習を行うことができ、部のレベルを向上できましたこと、この場を借りてお礼申し上げます。この結果に満足することなく、来年度も目標である全国大会優勝に向けて精進していきたいと思っておりますので、今後も引き続き応援頂けます様よろしくお願ひいたします。

(水泳部)



剣道部

平成28年度の富山高専本郷キャンパス剣道部は、男女7名の新入部員を迎え、部員数も23人に増えました。外部招聘コーチの伊勢博行先生のご指導のもと、日々、道場で稽古に励んでおります。

7月に越前市で行われた第51回北陸地区高専大会の男子団体は、リーグ最終戦まで優勝の行方がわからない大接戦となりました。総勝者数、総取得本数で石川高専を下回ったものの、石川高専との直接対決を1本差で勝った本郷キャンパスが、5連覇を果たすことができました。女子団体は、惜しくも2位でしたが、1~2年生の若いチームでありながら、相手の上級生に対して引けを取らない試合をすることができました。全国大会出場は逃しましたが、今後の成長と活躍が期待できるチームです。

個人戦では、木倉健成君(3M)が2連覇し全国高専大会の3年連続出場を勝ち取り、森智希君(3M)もベスト4に残りました。高なつみさん(1C)も1年生ながら3位入賞と大健闘しました。次の目標は、豊田市で開催される全国高専大会です。しっかりと準備をして、これまでご支援

いただいた皆様に朗報をお届けしたいと思います。

昇段審査では、木倉健成君と森智希君が参段に、高専入学後に剣道を始めた毛利崇力君(2C)が初段にそれぞれ昇段し、部員のレベルも年々向上しています。

同窓会より頂きました助成金は、全国高専大会や遠征時の学生旅費などに活用させていただきました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

今後もより一層稽古に励み、さらなる高みをめざして、剣道部員全員が一丸となり頑張っていきたいと思っております。引き続きご支援のほどよろしくお願ひいたします。

(剣道部主将 機械システム工学科3年 木倉 健成)



陸上部

平成28年度の富山高専本郷キャンパスの陸上部は1年生男女が6名入部しました。今年度は5年生がおりませんので、4年生の宝田慎君をキャプテンとして中心にまとめ、皆が目標を掲げて毎日、熱心に自己研鑽に励んでおります。

地区大会においては射水キャンパスと合同チームで参加し、地元の高中生・大学生と競り合っております。4月には高体連記録会(走高跳男子7位、800m女子7位、100mハードル女子6位)、高岡市長盃、5月は富山カップに春のインカレ、富山県の高専総体(4×100mリレー男子8位、4×400mリレー男子3位)、6月は北信越高専総体、7月は県選手権大会(800m女子8位)、8月は県民体育大会(800m男子1位、走高跳男子4位、やり投男子6位、800m女子2位、走幅跳女子6位)に加え、9月以降も県高専新人大会や秋インカレ、北信越新人戦、高体連記録会や県駅伝に出場を予定しております。

この原稿を執筆しております、つい先日には名古屋瑞穂スタジアムで開催された第51回の全国高専大会に3名の学生が出場を果たしました。そのうち800m女子で森有希奈さんが4位に、100mハードル女子で水上真菜

さんが5位に入賞するなど、日頃の成果を発揮できたものと思われます。今回は出場できませんでしたが、低学年の学生達も地区大会で上位に食い込み、今後の成長が期待されます。

同窓会より頂きました助成金につきましては全国大会の学生旅費などに活用させていただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。今年度、残りの大会に向けて気を引き締め、更なる記録更新に向けて精進していきたいと思っておりますので、引き続き応援のほど、よろしくお願いいたします。(陸上部)



野球部

同窓会より、クラブ活動助成をいただき、どうもありがとうございました。試合球の補充等に使用させていただきました。

現在、部員は5年生8人、4年生8人、3年生6人、2年生10人、1年生3人、マネージャーは5年生1人、4年生1人、2年生3人います。野球部は、高専大会へ出場した選手は高校の大会に出場できないため、3年生以下は高校の大会、4・5年生は高専の大会に参加しております。高校チームは試験期間以外、ほぼ毎週、練習試合を行っています。

本年度、4・5年生の高専チームが参加している北陸地区高専大会は、初戦で射水キャンパスに勝ち、決勝戦で石川高専と対戦して敗退し、全国大会へ出場できませんでした。

高校チームは、春季大会は1回戦で氷見高校と対戦し、

2:8で敗退し、夏季大会は1回戦で桜井高校と対戦し、1:5で敗退し、いずれも強豪校との対戦でしたが、試合の前半は互角の戦いができました。また、高校チームの上着の名前が「高専本郷」に変わりました。

現在は、1・2年生の新チームがスタートしています。野球部員たちは、日々本校の野球場で、頑張っている練習していますので、大会のときには、同窓生の皆様も球場に応援に来て下さい。

(野球部顧問 機械システム工学科 井上 誠)



ほんごう会のホームページアドレスは <http://www.tk-hongou13.net/>

【会員専用ページ閲覧IDとパスワード】 ユーザー ID : member パスワード : passhongou13

【メールアドレス】 ezx02722@nifty.ne.jp

英語で表示されるかも知れませんが上段にID、下段にパスワードを入力してください。